

通 算 2653回  
2011年4月8日  
第36回例会  
毎週金曜日

会報編集 立山 茂 委員

## 4月 雑 誌 月 間

点 鐘 中川貴夫会長  
歌 唱 ヲグラーダー 原田知一郎委員長  
国 歌 「君が代」  
R. S 「我等の生業」  
司会・進行 井手富浩委員長  
来訪者紹介 中川貴夫会長

九州電力(株) 熊本支店  
総務部 広報グループ 原田正治様

### 会長の時間

中川貴夫会長

季節は良くなり暖かく過ごしやすくなりましたが、今だ、東北・関東には厳しい環境が続いております。「頑張ろう、日本」皆の心一つで頑張りたいものです。

先週、義援金のお話をさせて戴きましたが、理事会を例会終了時に再度行い、理事の皆様のお見せを伺いましたが、結果的には今年度は今年度で区切り、「1人10,000円（5月、6月）を出して戴き、次年度は、又次年度で考えた方が良くはないか」という結論に達しました。会員の皆様も出費多難の折ご協力をよろしくお願い致します。

よって、稲江RCとの協力義援金を合わせて2,000,000円、慶山RCとの協力義援金300,000円（148,000円）RC地区を通して送金したいと思います。よって、この事を、友愛基金担当理事・高山理事に上程した所、友愛基金より462,000円を補助して戴く事となりました。また、先日29日に地区に送金しました30万円分は、地区合計1400万円を2520地区（岩手・宮城）ガバナー通じて送金、別府地区大会で集まった義援金箱の50万円を塩釜RC（桑原RIコーディネーターの所）に送

金したそうです。

今回の、稲江RC・慶山RCの温かい義援金も地区を通じて送金いたします。また、御礼状も人吉RCはもちろんです。地区より送付戴くようお願い致しました。

さて、4月3日（日）は八代南創立35周年記念式典に、中島パスト会長、浅野会員、有馬会員、渡辺幹事、私、5名で出席致しました。大人から子供へつなげる「絆」をテーマに開催され、琴の演奏（八代第三中学校の生徒さん）墨書お書き・書道ガールズ（八代南高校生徒さん）によるアトラクションから始まり式典に入りました。台湾基隆東ロータリークラブと友好関係を結んでおり35周年にも出席予定でしたが大震災の為に出席を控えられたみたいです。

東北・関東大震災に対し黙祷・義援金寄付贈呈から始められ式典は進められました。その中で、地域貢献と言う事で、国立熊本高等専門学校・八代キャンパス准教授・森山氏、やっちょろやっ隊長・有田氏、伝承遊びイベント連合会会長・木下氏3名が表彰されました。

さて、4月は雑誌月間となっておりますのでお話をしたいと思います。RIの公式機関誌「ザ・ロータリアン」及び世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌（「ロータリーの友」など）に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報普及を図ることが目的です。クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された「ザ・ナショナル・ロータリアン」（1912年に「ザ・ロータリアン」改称）が発刊され

2011～2012年度 人吉RC委員会

た1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としていました。

「2010年手続き要覧 P 257」の「ロータリー・クラブ定款」の「第14条ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限り、R I 機関誌、または国際ロータリー理事会から、本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌（日本では「ロータリーの友」）を購読義務として定めています。それで、今日も、「ロータリーの友」紹介を雑誌委員会ですて戴きます。よろしくお願ひ致します。

2010-2011年度R Iテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」です。

幹事報告

渡辺洋文幹事

<4月1日定例理事会承認事項>

○東日本大震災に対する、台湾・韓国からの義援金の対応の件→ 会員1人1万円を集めると言う事で承認いただきました。

【連絡事項】

- ・明日4月9日、熊本西ロータリークラブ25周年に会長・幹事で出席予定です。
- ・木下光一ガバナー・地区大会実行委員会より、地区大会への参加お礼がきています。
- ・豊後高田RCより、創立50周年式典への参加お礼がきています。

【例会変更】

- ・宇土RC4/20→4/23 25周年記念例会の為
- 〃 →5/4例会取り止め
- ・熊本グリーンRC4/8→4/21熊本北RC合同例会の為  
熊本ホテルキャッスル

【本日の回覧】

健康保険人吉総合病院広報誌「翔」No.464  
湯布院RC週報

【本日の配布】

- ・熊本県広告景観向上推進協議会『素敵な広告のあるまちづくり』パンフレット
- 人吉RC2648回, 2651回会報

< 次年度委員会構成発表 >

宮原和広会長エレクト

本日、次年度委員会構成表をお配りしました。皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。それから、4月17日(日)に熊本市崇城大学におきまして、次年度の地区協議会が開催されます。次年度のガバナー補佐の中島パスト会長をはじめ、地区委員の和田パスト会長、中川会長、部門別協議会に義務出席の次年度委員長の皆様、どうぞ宜しくお願いします。後ほど交通についてFAXさせていただきます。ご確認をお願いします。

| 委員会      | 委員長   | 副委員長  | 委員   |   |
|----------|-------|-------|--|---|
| クラブ運営    | 山賀勝彦  | 浅野 強  | 高山征治<br>馬場貞至<br>有馬宏昭<br>尾方芳樹<br>有村隆徳<br>鳥井正徳 | 戸高克彦<br>葉山稔洋<br>岩井和彦<br>大久保勝人<br>井手富浩<br>塚本哲也 |
| R 情報     | 高山征治  | 浦田繁喜  | 和田栄司<br>中川貴夫                                 | 小林清市  |
| 親睦       | 戸高克彦  | 漆野智康  | 水野虎彦<br>立山 茂<br>鳥越博治                         | 岩本泰典<br>本田 節<br>小林祐介                          |
| S A A    | 馬場貞至  | 田上和弘  | 村山能史<br>山口令二                                 | 板井英朗<br>青木一幸                                  |
| プログラム    | 葉山稔洋  | 平田フク  | 渡辺洋文   |   |
| ニコニコ     | 有馬宏昭  | 岩本光義  | 齊藤日早子<br>丸尾 孜                                | 永江 浩  |
| 出席       | 岩井和彦  | 永尾禎規  | 原田知一郎<br>堀 文記                                | 友永和宏  |
| 会員組織増強   | 尾方芳樹  | 宮山 惇  | 外山博之・安達玄一<br>伊久美寛志                           |   |
| 職業分類     | 大久保勝人 | 堤 正博  | 釜田元嘉<br>片岡啓一                                 | 岡啓嗣郎<br>延岡研一                                  |
| 会員選考     | 有村隆徳  | 大賀睦朗  | 赤池利光<br>増田 力                                 | 堤 脩<br>武末憲一                                   |
| クラブ広報    | 井手富浩  | 石原弘章  | 山田仁法<br>川上博久                                 | 石蔵美佐子<br>木村正美                                 |
| 雑誌       | 鳥井正徳  | 中島博之  | 牛島スミ子<br>北 昌二郎                               | 愛甲 康  |
| クラブ会報    | 塚本哲也  | 尾上暢浩  | 川越公弘<br>愛甲英二                                 | 山本瑤子  |
| 奉仕プロジェクト | 宮原和広  | 馴田信治  | 安達玄一<br>延岡研一<br>外山博之<br>立山 茂<br>片岡啓一         | 水野虎彦<br>北昌二郎<br>本田 節<br>山田仁法<br>和田栄司          |
| 職業奉仕     | 安達玄一  | 鳥越博治  | 堀 文記<br>板井英朗<br>渡辺洋文                         | 石蔵美佐子<br>高山征治                                 |
| 社会奉仕     | 水野虎彦  | 村山能史  | 葉山稔洋<br>岩井和彦<br>浦田繁喜                         | 牛島スミ子<br>井手富浩                                 |
| 環境保全     | 延岡研一  | 原田知一郎 | 田上和弘<br>丸尾 孜<br>岩本泰典                         | 山口令二<br>堤 正博                                  |
| 地域発展     | 北昌二郎  | 川越公弘  | 大賀睦朗<br>尾方芳樹                                 | 尾上暢浩<br>大久保勝人<br>永江 浩                         |

|         |      |       |                                     |
|---------|------|-------|-------------------------------------|
| ハルスサホート | 外山博之 | 岡啓嗣郎  | 友永和宏 増田 力<br>小林清市 木村正美              |
| 新 世 代   | 本田 節 | 戸高克彦  | 鳥井正徳・塚本哲也<br>永尾禎規 石原弘章<br>有馬宏昭・釜田元嘉 |
| ローターアクト | 立山 茂 | 青木一幸  | 武末憲一 平田フク<br>漆野智康 馬場貞至<br>岩本光義      |
| 国 際 奉 仕 | 山田仁法 | 小林祐介  | 川上博久 中島博之<br>有村隆徳 愛甲英二<br>齊藤日早子     |
| 米 山 奨 学 | 片岡啓一 | 赤池利光  | 山本瑤子 宮山 惇<br>愛甲 康                   |
| ロータリー財団 | 和田栄司 | 伊久美寛志 | 中川貴夫                                |
| 監 査     | 武末憲一 | 永江 浩  |                                     |

## ≪ 寄付の申し出 ≫



水野虎彦会員  
この度、弊社社屋と高圧ガスの貯蔵設備を農面道路沿いに移転致しました。おこがましいようですが初めて寄付ができる理由付けができたことで、少し肩の荷が下りたような気持ちが致します。今後、より一層精進して参ります。皆様のご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 移転先

(有)ミズノ〒868-0081 人吉市上林町1415-1

### 【親睦委員会】

塚本哲也委員

## 3月のゴルフ表彰 3月27日 球磨CC

| RANK | NAME                           | TOTAL                 | H・D  | NET |
|------|--------------------------------|-----------------------|------|-----|
| 優勝   | 小林祐介                           | 88                    | 19   | 69  |
| 準優勝  | 戸高克彦                           | 94                    | 18   | 76  |
| 3位   | 伊久美寛志                          | 102                   | 25   | 77  |
| 4位   | 塚本哲也                           | 87                    | 10   | 77  |
| 5位   | 小林清市                           | 100                   | 21   | 79  |
| BB   | 山口令二                           | 敢闘                    | 武末憲一 |     |
| コピッ  | 肥後 ⑥板井英朗 ⑦なし<br>日向 ③小林祐介 ⑦北昌二郎 |                       |      |     |
| トラッ  | 67歳以上                          | 日向⑥ 尾方芳樹<br>肥後⑦ 伊久美寛志 |      |     |
|      | 67歳未満                          | 日向⑥ 北昌二郎<br>肥後⑦ なし    |      |     |
| ハスグロ | 67歳以上                          | 浦田繁喜 44・49・93         |      |     |
|      | 67歳未満                          | 塚本哲也 43・44・87         |      |     |

**4月のゴルフは、明後日10(日)です!**  
9時30分スタート、場所はチサンCCです。  
多くの参加お待ちしております!!

## 会務報告

**【職業奉仕委員会】** 塚本哲也委員長  
優良職員表彰式を5月13日(金)に計画しております。本日皆様のお手元に推薦書をお配りしました。皆様の事業所から素晴らしい職員さんをご推薦戴き、今月25日(月)までに事務局へご提出下さいませよう宜しくお願い致します。

## 出席率報告

岩井和彦副委員長

| 本日の出席率 |     |               |        |
|--------|-----|---------------|--------|
| 会 員 数  | 69名 | <b>83.33%</b> |        |
| 出席免除   | 3名  | 3/25例会出席率     | 79.71% |
| 欠席者数   | 11名 | 補 填 数         | 13名    |
| 出席者数   | 55名 | 修正出席率         | 98.55% |

### \*届け出欠席者

岩本光・岩本泰・立山・齊藤・愛甲英・青木・小林清  
永江・尾上・有馬・山本

### \*出席免除会員

(a) 石蔵, (b) 増田, 愛甲康

### メイクアップ

人吉RAC35周年記念例会; 中川・中島・馴田・延岡  
大賀・尾方・岡・尾上・齊藤大久保・高嶋・高山・武末

| 修正出席率    |        | *メイクアップ                       |
|----------|--------|-------------------------------|
| 3/4例会出席率 | 79.71% | 人吉RAC35周年記念例会;<br>田上・立山・戸高・友永 |
| 補 填 数    | 13名    | 鳥越・鳥井・外山・塚本<br>堤脩・堤正          |
| 修正出席率    | 98.55% |                               |

## 【来訪者より】

### 東北地方太平洋沖地震に対する九州電力の対応状況について

九州電力(株)人吉営業所 田上和弘所長  
〃 熊本支店 総務部 原田正治 様



今回の東日本大震災では、東北電力及び東京電力管内で多くの電力設備が被害を受けており、現在、両地域においては、電力供給が大変厳しい状況になっております。また、福島第一原子力発電所においては、報道でもご存じのとおり重大な事態に至っており、現在、国や自治体、東京電力が、懸命に収束に向けて対応されております。当社といたしましては、同じ原子力発電所を

有する電力会社として、今回の事態を大変深刻に受け止めております。また、九州の皆さまにも大変なご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社は、佐賀県の玄海原子力発電所で4基、鹿児島県の川内原子力発電所で2基の、2発電所・計6基の原子力プラントを稼働しており、九州の電力供給の4割強を賅っております。

今回の地震で若干の津波は観測しましたが、発電所の運転に影響を与えるものではなく、両発電所は現在も安全に運転を継続しております。しかしながら、原子力発電所の安全運転に万全を期するため、資料の中ほどに記載しておりますとおり、震災発生以降これまでに、非常用ディーゼル発電機や非常用炉心冷却設備などの待機状態に異常がないことの確認や、全ての交流電源が喪失した場合を想定した対応訓練の実施、更には、通常は台風等の災害時の応急送電用などに使用しております高圧発電機車を、先週18日までに玄海・川内の両発電所に計5台移動し、配備いたしております。とはいえ、これらは応急的な対応でありますので、今回の福島第一発電所での事態を真摯に受け止め、出来得る限り早い段階で、当社として可能な対策を実施していきたいと考えており、現在、資料に記載しております5つの対策を、検討しております。

これら5つの対策の説明に入る前に、原子力発電所の安全対策について、簡単にご説明します。原子力発電所では、「多重の防護システム」を採用しており、「異常の発生を防止する」ための様々な対策を講じております。

異常が発生した場合は、異常の拡大や事故への進展を防止するため「原子炉を止める」、更に事故発生に至った場合は、放射性物質の異常放出を防止するため、「原子炉を冷やす」「放射性物質を閉じ込める」というステップを踏みます。しかし、今回は「止める」機能はうまく行われたが、「冷やす」「閉じ込める」という最後の砦が十分に機能しないという、極めて深刻な事態となりました。今回の事態に至った原因を推測すると、大きなポイントとしては、システムが多重化されているにも関わらず、想定以上の津波により想定外の事態が生じており、それらの対応策については、次の3点が重要なポイントであると考えております。1点目は、非常用電源が確保できない事態への対応。2点目は、常設の冷却ポンプに不具合が生じた場合の対応。3点目は、関連して、炉心及び使用済燃料の冷却のための水の確保でございます。

今回は、「冷やす」が先ほど申し上げた3点の重要ポイントがうまく行かなかったために失敗し、その結果として、放射性物質を「閉じ込

める」にも失敗したと推測されます。いま検討している5項目が、「冷やす」の確実性を高めるものとしております。

まず、先ほど申し上げた重要ポイントの1点目である「非常用電源が確保できていない事態への対応」でございますが、この対策としては、③の「非常用ディーゼル発電機の代替電源の配備」と⑤の「外部からの所内電源の早期確保」を検討してまいります。これは、外部電源が使用できず、既設の非常用電源も動かない場合は、まずは更なる高圧発電機車の配備による代替電源で凌ぎ、その後なるべく早く、今回東京電力が行っておりますような大容量の外部電源を復旧させるということでございます。

次に、重要ポイントの2点目である「常設の冷却水ポンプに不具合が生じた場合の対応」でございますが、この対策としては、①の「海水ポンプエリア等の防水対策」と②の「海水ポンプ及びモータの予備品確保」を検討してまいります。これは、第一に「ポンプに水が入らないようにして故障させない」ということ、また、仮に故障した場合は「すぐに取り替ができるように準備しておく」ということでございます。

最後に重要ポイントの3点目である「炉心及び使用済燃料の冷却のための水の確保」でございますが、この対策としては、④の「冷却用水確保のための移動式ポンプの配備」を検討してまいります。なお、当社原子力発電所における海水ポンプ及び安全系機器の設置高さでございますが、現在想定されている津波の予想最高水位2.0mから3.7mに対し、海水ポンプ設置位置は6.1mから7.7m、非常用ディーゼル発電機室の設置位置は11mから13mとなっており、十分な余裕を持っていると考えております。

しかしながら、今回の福島第一発電所での事態は、想定以上の津波高により、想定外の事態が発生したこともありますので、今後とも情報収集に努め、国等による新たな知見が得られ、恒久的な設備対策など反映すべきものは適切に実施することとし、更なる原子力発電所の安全性確保に努めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、資料左側の中ほどにありますとおり、被災地において、当社は人員の派遣や資機材、物品の提供を行っており、今後とも電気事業者の一員として、出来得る限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

駆け足になりましたが、当社からの説明は以上でございます。ご質問等ございましたら、宜しく申し上げます。

点 鐘 中川貴夫会長

※雑誌委員会 丸尾孜委員の『ローターの友4月号の見所紹介』と、本日のニコニコカードは、次回に掲載します。